

平成 29 年度 第 3 回
講座委員会 議事録

日 時：平成 29 年 8 月 7 日（月）15:00～17:00

場 所：地盤工学会 会議室

出 席：野田委員長，

小林幹事，中村幹事，

秋本委員，伊藤委員，近藤委員，澤村委員（Web），島田委員，曾我委員，

谷川委員，丹野委員，戸邊委員，細田委員，福田委員，森下委員，

藤澤ガザバ -（Web），

欠 席：稻積委員，酒匂委員，澤田委員，重松委員

■ 本日の議事録作成者： 福田委員（次回以降の担当委員予定：森下→秋本→伊藤）

1. 議事録の確認

1) 講座委員会（29.6.15/細田委員/メール配信済 7.24）（別紙-1） pp.1-4

→前回委員会の議事録（案）の内容が周知され，承認された。

→3. 3) ①より，現在は最終確認として委員長も査読を行っているが，委員長が変わった場合その限りではない。

2) 関連委員会からの報告

①運営委員会議事録（案）（28.6.22/中村幹事）（別紙-2） pp.5-7

②公益出版部会議事録（案）（29.7.11/野田委員長）（別紙-3） pp.8-10

→①および②の議事録（案）の内容が周知された。講座委員会に関わる内容は特になし。

2. 全体関係

1) 年間活動予定表〔確認〕（別紙-4） p.11

→資料と本日の審議事項を確認し，承認を得た。

3. 講座の進捗状況および検討・確認事項について.

1) 「講座」「技術手帳」進捗状況（事務局）（別紙-5） p.12

2) 各講座の進捗状況〔報告〕

①「産業副産物・災害廃棄物の地盤工学的利用」[H29 上期]（森下委員）（別紙-6） p.13

→全ての章の査読が終了した。特に問題はない。

②「地盤に刻まれた大地震の痕跡」[H29 上期]（澤村委員）（別紙-7） p.14

→入稿の遅れ等もあったが，無事 8 章まで掲載できる見込みである。

- ③「X線CTから見る土質力学」[H29下期](藤澤委員)
 →5章の原稿は未受理となっており、手配を継続中である。
- ④「南海トラフ巨大地震・津波発生の実実に迫る
 ～強靱な社会の構築に向けて」[H29下期](中村委員・澤村委員)・・・(別紙-8) p.15
 →3章は引用文献の文量が多いため、調整中である。
- ⑤「杭基礎の支持層管理・既製コンクリート杭の開発の歴史と
 高支持力埋込杭」[H30上期](福田委員)・・・(別紙-9) pp.16-18
 →執筆者会議が終了し、執筆者が確定した。現在は目次案を作成中である。
 →タイトルが確定次第幹事に報告すること。
- ⑥「サンプリングと試料保管の極意」[H30上期](稲積委員)・・・(別紙-10) pp.19-20
 →講座のタイトルは「サンプリングの極意－計画・評価・運用－」に決定した。
 →⑤および⑥の担当リーダーは各章の査読担当者を決定して欲しい。
- ⑦「都市の大深度地下利用(仮題)」[H30下期](小林幹事)・・・(別紙-11) p.21
 →予定している内容がNGとなる場合を想定し、準備している。何か別の候補があれば教えて欲しい。

4. 新規講座テーマについて(審議：小林幹事)

- 1) 30/10～掲載テーマについて・・・(別紙-12) pp.22-38
 ・投票結果一覧(審議)
 →H30年下期の講座テーマの1つは「都市の大深度地下利用(仮題)」で決定している。残り1つのテーマの選定のため各委員からテーマの紹介後、投票により決定した。
 →「耐震設計指針の考え方と地盤および土構造物への適用方法」が新規講座テーマに決定し、担当リーダーは伊藤委員となった。
 →H31年上期のテーマ募集を行う。小林幹事より提案フォーマットが送られるので1人1テーマ以上提案して欲しい。次回委員会で議論を行う。

5. 「技術手帳」について(細田委員・重松委員)

- 1) 進捗状況(報告)・・・(別紙-13) p.39
 →11・12月号まで査読が完了し、順調に進んでいる。
 →「音響トモグラフィ」はH30年3月号に掲載予定、「低改良セメントコラム工法」は1月号、「地震PML」は2月号の掲載を考えており掲載順が若干変更している。
- 2) 30年テーマ(案)の検討・・・(別紙-14) pp.40-45
 →提案者からテーマの説明があった。
 →事前にテーマを20ほど選定していただき、メール投票により15テーマまで絞り込む。次回に投票結果を提示する。

6. 7～8月号の検討・反省

→7, 8月号の検討・反省を行った。特に検討を要する点はなかった。

7. その他

1) 講座原稿執筆要領 (別紙-15) p.46

→執筆者会議(杭)でIV留意事項(7)がわかりにくいとの指摘があった。議論により以下の修正を加えることとした。

(修正前) 文章および図表類を引用の範囲を超えて転載～

(修正案) 文章および図表類を著作権の引用の範囲を超えて転載～

→引用文献の文量は2/3ページを原則とし、主査および執筆者に周知するが、超えてしまう場合は幹事に連絡し調整する。

→次回に改訂案を提示する。

2) 「地盤工学会誌」執筆要領 <参考資料-1>

→共著の場合は4名以内を原則としている。講座原稿執筆要領に記載する予定である。

3) 次回の開催日時について 平成29年11月6日(月) 15:00～

(年5回: 6月, 8月, 11月, 1月, 4月)

[参考: 28年度 28.11.15]